

提供年月日	令和6年1月22日
担当部課	都市建設部 河川防災ステーション推進室
担当者	阪本
連絡先電話番号	077-516-4630

「第2回野洲市 MIZBE ステーションかわまちづくり協議会」
の開催について

～野洲川河川敷の新たなにぎわいづくりの取組について～

1.目的

野洲市及び周辺地域の持続ある発展と次世代へ繋ぐ社会基盤を整備し、水辺空間を活用した未来へと繋ぐ持続可能な社会づくりと人づくりの思いを込め、野洲市市三宅地区の野洲川河川敷（北流側帯）において、野洲市と国土交通省が連携して推進する「かわまちづくり（MIZBE ステーション含む）」と、滋賀県が推進する「滋賀県立高等専門学校」の一体的な推進を検討しています。

今回、第1回野洲市 MIZBE ステーションかわまちづくり協議会の意見を踏まえて作成した「野洲市 MIZBE ステーションかわまちづくり計画（素案）」について議論しますので、お知らせします。

2.日時 令和6年1月26日（金）10：00～11：30

3.場所 野洲市役所 本館3階 第1委員会室（会議）
（滋賀県野洲市小篠原2100番地1）

4.内容 野洲市 MIZBE ステーションかわまちづくり計画（素案）について 等

5.傍聴 会議は公開で行いますのでどなたでも傍聴できます。
ただし、席数が限られていますので、傍聴できない場合もあります。

6.その他 当日の配布資料は、後日野洲市役所のホームページにて公開します。

<問合せ先>

○第2回協議会に関すること

野洲市 都市建設部 河川防災ステーション推進室
電話：077-516-4630 担当：阪本、中塚、小池

○かわまちづくり、MIZBE ステーションに関すること

国土交通省 近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所
電話：077-546-0844 事業対策官 北川
流域治水課長 小高

国有地における整備の方向性について

(MIZBE ステーション及びかわまちづくり計画の策定に向けた取組みについて)

県立高等専門学校(以下「高専」という。)の令和 10 年春開校に合わせ、本市では高専設置場所に隣接する国有地(市三宅地先)において、河川防災ステーションの整備に向けて、国・県・市で調整を進めているところです。

本年3月に河川防災ステーションの役割を深化させた地域活性化拠点となる「MIZBE ステーション」制度が新設されました。当該地を拠点とした地域活性化を推し進めるため、MIZBE ステーション及び河川空間を活かした地域のにぎわい創出を目指す「かわまちづくり」に向けて取組みを進めるために、野洲市 MIZBE ステーションかわまちづくり協議会を設置し、高専開校並びに MIZBE ステーション整備を前提としたかわまちづくり計画について、国・県・市が連携し、検討を進めて参ります。

●MIZBE ステーションとは

災害時に緊急復旧活動や水防活動を迅速に行うための拠点である「河川防災ステーション」の機能に加え、平常時には地域活性化やにぎわい創出の拠点としての機能を有する施設です。

本施設を整備する際は、国土交通省水管理・国土保全局長に整備計画の登録が必要です。

●かわまちづくりとは

河川空間とまち空間が融合した良好な空間を形成し、河川空間を活かして地域のにぎわい創出を目指す国土交通省の支援制度です。

本支援制度の活用にあたっては、「かわまちづくり計画」を策定し、国土交通省水管理・国土保全局長に計画の登録が必要です。

野洲市域には直接野洲川の水に親しめる場所がなく、以前から水辺を活かした場所づくりが求められているため、MIZBE ステーション整備に合わせて、「かわまちづくり」の取組を進めて参ります。

●高専との連携

本市では高専設置場所の誘致にあたり、高専に隣接する国有地においては、MIZBE ステーションを整備することにより、平常時は高専でもグラウンド利用等、良好な教育空間を提供することが可能になるとともに、かわまちづくりにより、地域活性化の拠点としての活用も期待されます。国・県・市連携のもと、これら施策を一体的に進めて参ります。

野洲川河川敷の魅力を活かした新たなにぎわいづくり基本方針イメージ



陸上競技場



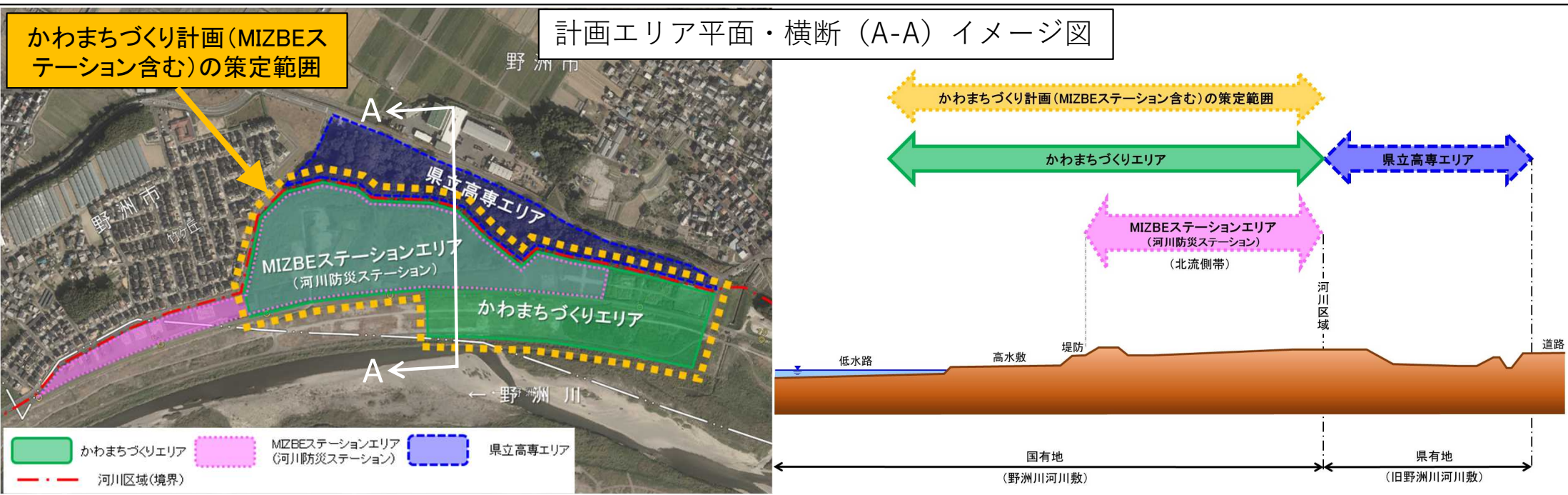
テニス場



休日マルシェ



水防訓練



土木技術講習



グラベルコース



サイクリング



環境学習